

テーマ	財務会計の制度（Ⅱ）・利益計算の仕組（Ⅰ）				
学籍番号					氏 名

1. 次の文章の空欄にあてはまる語句または数字を答えなさい。

- ・ 法人税額は、各事業年度ごとに算定される（ ① ）の額に、所定の税率を乗じて決定する。（ ① ）を計算するための会計が税務会計である。（ ① ）は、（ ② ）の額から（ ③ ）の額を控除した差額である。
- ・ （ ① ）の計算は、株主総会で報告または承認された損益計算書に記載されている当期純利益を基礎とし、これに税法特有の調整項目を加算・減算することによって算出される。このような株主総会で報告または承認された損益計算書の当期純利益を基礎にして（ ① ）を計算する制度の事を（ ④ ）主義とよぶ。
- ・ 貸借対照表の項目間には、資産＝負債＋資本という等式が成立する。この式を（ ⑤ ）とよぶ。
- ・ 複式簿記の仕訳では、借方の項目と貸方の項目を組合わせて、左右が同額になるように行われる。この均等関係が維持される仕組を（ ⑥ ）という。

①		②		③	
④		⑤		⑥	

2. 転記の必要性について述べなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

3. 試算表の必要性について述べなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

授業の感想など	
---------	--